



- ① 技術・開発館
- ② 技術・文化館
- ③ 昭和歴史館
- ④ タコ焼きミュージアム
- ⑤ パイプ加工工場
- ⑥ 組立工場

やま おか きん ぞく こう ぎょう  
**山岡金属工業 株式会社**



代表取締役  
やまおか ひでみ  
**山岡 秀文** さん

**お客様のニーズに合わせて  
熱と空気をデザインします**

「熱と空気をデザインする」を企業活動の基本コンセプトに「他よりも明らかに優れていて、その違いに満足できるもの」を目指したブランドを展開しています。ガス機器・電気機械器具を中心とする高品質で安全な製品を数多く提供し続けてきました。近年は環境を意識した製品も開発し、お客様の多様化するニーズに、高い技術力と開発力・充実したアフターサービスを持って誠実にお応えすることでさらなる企業価値の向上を目指しています。今後お客様・地域社会・協力会社と共創し発展する開かれた企業を目指して前進を図ります。

- **主な事業内容**  
業務用・家庭用調理機器などの開発・製造・販売・付帯サービス
- **主な取引先(納入先)**  
ガス会社、厨房機器関連会社、外食関連会社

住 所 / 〒570-8585  
大阪府守口市東郷通2-7-30  
TEL / 06-6996-2351  
FAX / 06-6997-3045  
創 業 / 昭和31年1月  
設 立 / 昭和35年6月  
資本金 / 4,000万円  
従業員 / 40名

<http://www.silkroom.co.jp/>

## 60余年の技術力と開発力で 熱と空気をデザインする

### 事業内容と沿革

#### 厨房機器から屋外熱機器まで1年間100種類の製品を手がける

業務用厨房機器をはじめ、喫茶関連機器や屋外用熱機器などの製造・開発・販売を手がける。「熱と空気をデザインする」のコンセプトのもと、市場のニーズに応じて自社ブランドを展開する。昭和31年1月、山岡重俊氏が「山岡鉄器製作所」を創業。下請けからスタートしたが、持っている技術を生かそうと自社製品の開発にこぎつけ、昭和37年、「ヤマキン」ブランドを設立した。

当時、ガスが普及したことをきっかけに家庭用ガス調理機器の製造販売を

開始した。リビングルームの食卓用丸形コンロの製作に始まり、昭和48年にはコーヒーサイフォンを開発。その販売を機に喫茶店の多い東京に営業所を設置した。

現在、業務用厨房機器、客席用クッキングテーブルをはじめ、屋外用熱機器、喫茶関連機器、アメニティ環境機器、家庭用調理機器など幅広い機器を開発し、扱う製品は年間約100種類にのぼる。山岡秀文社長は「リスク分散も意識し、今後も事業拡大を続ける」と意気込む。

### 強み

#### 市場の声に沿って 機能性とデザイン性を追求

強みは、創業以来60年以上にわたり、家庭用・業務用調理機器を中心に長年のノウハウを生かして培った機能性とデザイン性。顧客のニーズを逃さず単品受注にも応じ、各分野から信頼を得る。「無煙ステーキテーブル」を開発した際には、ホテルの宴会場から、イベント毎に料理の煙のにおいを残さない調理機器が求められた。機器内に煙を処理する機能を組み込むことで、シェフが屋内宴会場でも調理のライブ感を演出するとともに、会場への煙によるにおいの付着を低減し、昭和62年発売後、ホテル、旅館やゴルフ場などから月に平均1台程度受注している。

さらにデザイン性にもこだわり、評価を得てきた。業務用厨房機器のクッキングテーブル「TRIANGLE(トライアングル)」は平成24年、グッドデザイン賞を受賞。画一化されない小ロットでの受注品に、それぞれの機能性とデザイン性を追求する。ISOなど第三者認証も取得し、安全性とともに製品の強みをアピールする。

### 取り組み

#### 企業間協力で より良い製品を

顧客ニーズへの対応などに際して、自社解決が困難な課題に対しては、技能士などから専門の知見を取り入れて解決を目指す。また、商品の質の向上に努め、自前主義に固執せずに開拓した協力会社はおよそ470社にのぼる。企業間連携を進め、より良い製品づくりにこだわる。

#### 企業内を ミュージアム化する新企画

創業50周年を機に、商談での実装試験や、歴代製品、企業文化の展示を目的として企業ミュージアム「夢工房」をオープンした。「技術・開発館」は訪問客が製品の性能や効果を体感できる。「技術・文化館」は食と文化の歴史として珈琲抽出機やお好み焼きテーブルなどの製品展示や、同社の初期製品の展示と昭和の歴史風景の再現スペースも設ける。また、製品の組立ラインも見学用に公開する。ミュージアム開設後、企業だけでなく地元の小学校から国際交流事業での訪問の問い合わせが増え、平成20年から平成28年の9年間でこれまで約1万3,300名の訪問を受け入れた。

### 今後の展開

#### 体制強化で新分野開拓

企業理念「熱と空気をデザインする」をコンセプトに、多品種少量でさらなる品質向上を目指す。数年内には社内のCADを3次元CADに移行し、製品開発力を高める。また全国に協力企業を広げることで、販売地域の拡大とメンテナンス対応の時間短縮も図る。社員の技術向上と、各企業の特長を生かした企業間での連携強化で、現行の家庭・業務用機器から産業用機器市場への拡大を目指す。

「快適な環境をデザインする」というコンセプトで、電子カーテンやグリッドフィルター、排煙処理システムなどを、食品製造工場やオフィス生活向けなどへの展開を広げる。山岡社長は「製品開発力を強化して5年から10年の間に産業用機器市場を売り上げの10%程度に拡大し、平成30年4月期には全体の売り上げを平成28年度の7億4,500万円を約8億円から9億円まで伸ばしたい」と意気込む。